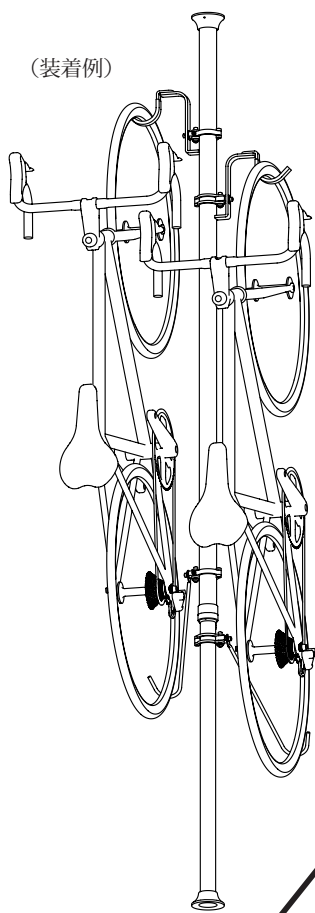


(装着例)



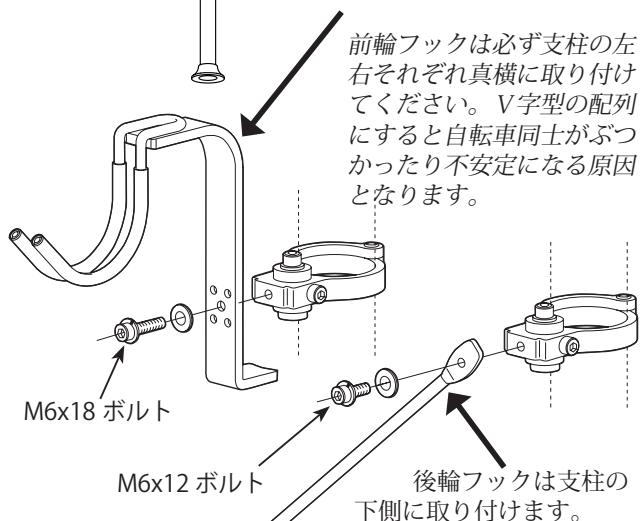
自転車を前輪から吊り下げて収納するための上下フック1ペア（自転車1台分）のセットです。  
P-500をP-600に、バイクタワーをバイクピットに仕様変更する際などに使用します。



**自転車は前輪から吊り下げるようにします。**  
後輪から吊り下げるとハンドルバーに低い位置に来て足を引っ掛けやすくなるのでお勧めしません。

上側に取り付けられる前輪フックは、左右の自転車のハンドルバー同士が干渉しない程度に、取り付け高さをずらしてセットします。

前輪フックは必ず支柱の左右それぞれ真横に取り付けてください。V字型の配列にすると自転車同士がぶつかったり不安定になる原因となります。



後輪フックは支柱の下側に取り付けます。

装着部品の重量バランスのせいで、自転車はそのまま吊り下げるだけでは決して直立してはくれません。  
収納スペースを小さくするためには、できるだけ自転車を垂直に吊り下げるべきで、それには後輪の位置が重要です。

後輪タイヤにフックに掛けて引き寄せた際に自転車が直立する位置と角度に、後輪フックを設置します。リムやスポークにフックを引っかけるのは誤りです。フックはじわっと動くようにして、完全固定はしません。

## お問い合わせ先

<販売元> **株式会社 フカヤ**  
〒460-0015 愛知県名古屋市中区大井町1-37-3F  
Phone (052) 228-8910 / Fax (052) 228-8917  
www.fukaya-sangyo.co.jp

<製造元> **株式会社 箕浦**  
〒503-2305 岐阜県安八郡神戸町神戸1197-1  
Phone (0584) 27-3131 / Fax (0584) 27-7505  
minoura@minoura.jp (営業)  
infodesk@minoura.jp (カスタマーサービス)  
www.minoura.jp

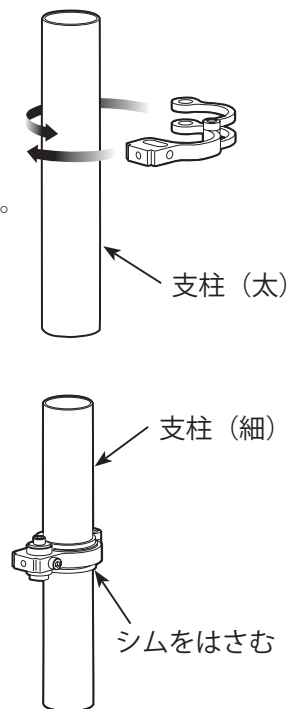
## クランプの取り付け方

1

まずいったんクランプを分解してから、支柱に巻き付けます。このときクランプの1本アーム側が向かって右側に、2本アーム側が左側になるようにします。



直径40mmの細い方の支柱（バイクタワー20だと下支柱。それ以前のモデルでは上支柱）に取り付ける場合は、添付の樹脂製シムをスペーサーとしてクランプの内側に巻く必要があります。太い45mmの方の支柱にはシムは不要です。  
シムの外周を見て、2列のリブがある方が1本アーム側になるようにし、アームはその間に置きます。



2

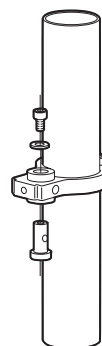
重ね合わせたクランプの下側から3つの孔すべてを通してピボットピンを通し、上から平ワッシャを通した短い方のボルトを軽くねじ込みます。



このボルトを上から通してしまうと、後で六角レンチでボルトを回せなくなってしまいます。



このボルトはまだ完全には締め込まず、仮締めのままにします。次の作業の後で締め込みます。



3

ピボットピンを回転させ、ピンの側面にあるネジ孔をクランプ右側の孔と合わせます。その状態で長い方のボルトをピボットピンにねじ込みます。

クランプを完全固定するには、まず最初に長い方のボルトを、続いて短い方のボルトの順で締め込みます。

